

会議名称：令和元年度3月期古賀市社会教育委員の会議

日時：令和2年3月26日（木） 19時～20時30分

場所：リーパスプラザこが 交流館103会議室

主な議題：「第7回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について

傍聴者数：なし

出席者：松本委員、平島委員、角森委員、井浦委員、村山委員、丸井委員、橋爪委員、秋山委員

（以上委員8名）

青谷部長、中村課長、村上参事補佐、森田主事、小嶋

欠席者：國友委員

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：レジュメ等

会議内容：以下のとおり

松本議長：

皆さんこんばんは。ただいまから、本年度最後の社会教育委員の会議を始めます。

冒頭に青谷部長からの挨拶、最後に中村課長からの講評の言葉をいただきたいと思います。

学校の休校が続き、子どもたちの居場所が問題となっておりますが、児童館も閉館となり、8小学校に特別な学童を設置しまして、そこに私たち児童館職員が派遣されました。

そんな中、西校区のコミュニティにて、中川区の公民館を開けて子どもたちのための居場所づくりをしようと申し出ていただいたり、西小の特別学童にてパンの配布を申し出ていただいたのですが、両者とも諸事情により実現はできませんでしたが、自主的な発想で子どもたちの居場所づくりのための行動が生まれてきているということが非常に嬉しいなと思いました。

コミュニティ運営協議会の継続的な活動が、地域の人々をつなげ、子どもを見る目、自分たちにできることを考えるということを育ててきたのだらうと思いますし、共に生きる地域というものができつつあるなと強く感じました。

おそらく他の校区でも同じようなことが起こっているのではないかなと想像しております。

地域づくり・人づくりは社会教育委員の永遠の課題ですが、こういったピンチの時に地域の皆さんの勇気や志の高さを改めて知ることができました。

長くなりましたが、本年度最後ですので、青谷部長よりご挨拶をいただきます。

青谷部長：

皆さんこんばんは。令和元年度最後の社会教育委員の会議ということで、松本議長をはじめ社会教育委員の皆様におかれましては一年間、本市の社会教育委員行政にご尽力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

特に9月に開催されました生涯学習笑顔のつどいにおきましては、全体会・分科会の二部構成となり、非常に有意義な場になったことを改めてお礼申し上げます。

委員の皆様には企画運営の段階から、実践、振り返りと年間を通していろいろと教をいただき、毎年工夫を凝らして笑顔のつどいに取り組んでいただいておりますので、来年度におきましても更に活動の場が広がるようなつどいになろうかと期待しているところでございます。

さて、世界的に大変な状況となっております新型コロナウイルス感染症ですが、本市でも対策会議をほぼ毎日設け、刻々と変化する状況に対応しているところでございます。

今後大切になるのは、市民の皆様へのいわゆる3条件、密閉・密集・密接をできる限り避けるよう啓発を行いながら、先ほど松本議長が仰られたように、今こそ地域のつながりづくりという点においてはピンチはチャンスという意識を持ちながら、しっかり取り組んでまいりたいと思いますので、今後ともどうかよろしく願いいたします。

長くなりましたが、本日の社会教育委員の会議の挨拶とさせていただきます。

松本議長：

ありがとうございました。

それでは協議事項に移ります。前回の振り返り、テーマの決定、分科会担当の決定をしたいと思います。事務局お願いします。

事務局：

皆さんこんばんは。まずA3資料ですが、これは活動報告書の一部となります。

前回会議にて、主旨につきましては事務局でと申し上げておりましたので、案を記載しております。

テーマにつきましては、2枚目のA4資料、皆様から提出していただいたテーマ案の中から今日決定していただきまして、そのテーマに込められた思いをまた事務局の方で文章にしたいと思います。

3枚目の資料は松本議長からのものですが、現段階までのまとめとなっております。

下半分、分科会の発表者ですが、推薦者の皆様のおかげで全員参加を快諾いただいております。

この空欄となっているテーマですが、団体名ではなく、発表のタイトルであり、各団体さんがどういう絞り込みで発表いただくか、ということを入るものです。

したがって、ここは今日埋めるのではなく、各団体さんとの協議後決定するものとなります。

事務局からは以上です。

松本議長：

はい、ではまずA3の主旨ですが、少し目を通して訂正や希望があればお願いします。

(2分経過)

ないようですので、もし後で思いつくところがあれば事務局へお願いします。

では続いてテーマですが、ここは後程決定するテーマについての思い入れ等が入る予定ですね。

次以降は確認となりますが、日時・タイムスケジュールです。

分科会につきましては40分間、これをどう作るかは4月以降の実行委員会にて決定していきたいと思

います。

ワールドカフェ方式の持ち方ですが、皆様もいろいろな研修で培ってこられた経験をもとに、実りある分科会にしていただけたらと思います。

それではテーマの決定に移りたいと思います。資料をご覧になって、お隣同士で話し合いをお願いします。

(5分間協議)

では平島委員から順に3つずつ推薦をお願いします。

平島委員：

私が提出したのは子どもとともに、というシリーズですが、先月の研修に出てきた言葉でいいなと思ひまして提案しました。

もっと小さなお子さんを対象にした発表が多いのかと思ったのですが、1つしかなかったですね。それを考えると、あまり子どもを前面に出すのもどうかと思ひましたが、私の提案の中から「子どもとともに笑顔の輪づくり」を推薦します。

村山委員：

「みんなが力を合わせれば、もっと古賀はステキになれる！」

「幅広い人生へ、みんなの素敵な輪を拡げよう！」

「地域がはぐくむ子どもの笑顔」

理由は感じがいいな、となんとなくドキッとするものを選びました。

丸井委員：

笑顔のつどいを視点に置くと、「発見発掘！古賀市のステキ活動！」がいいと思いますが、分科会の視点からであれば、つながるといのが大切なと思いますので、「つながるって、支えるって楽しい！」とか「子どもの笑顔は地域の宝」がいいと思います。

秋山委員：

深く、でも伝わりやすいのがいいなと思ひまして「人生はまだまだ豊かになれる！」と、地域が主体になることが重要なと思ひまして「地域がはぐくむ子どもの笑顔」、親子での参加がしやすいかなと思ひまして「親子でジャンプ地域の人の輪へ」を推薦します。

橋爪委員：

地域の活動を知らないとか、していない人に紹介したい、広げたいというのが狙いだと思い「広げよう！地域活動の輪！」「発見発掘！古賀市のステキ活動！」をメインテーマにして、サブテーマで「子どもの笑顔は地域の宝」や「地域がはぐくむ子どもの笑顔」という子ども関連のものを持ってきたらいいのではないかと思いました。

井浦委員：

橋爪委員と話し合ったので同じですが、発表団体の活動とターゲットである子どもたちの二本柱をテーマにしたらいいと思いました。

角森委員：

子どもをキーワードにするのがいいかなと思っていたのですが、発見発掘という言葉に妙に惹かれたのでこれがいいかなと思いました。

私の提出したのは向こう三軒シリーズなのですが、子どもを育てるにあたって、昔の集落が持っている力を新しい集落に広げられたらいいなと思っておりまして、「広げよう！地域活動の輪！」と「発見発掘！古賀市のステキ活動！」がいいと思いました。

松本議長：

では、絞られた5つの内から更に選んでいきましょう。
まずはテーマ、それからサブタイトルと決めましょう。

(評決の結果、「発見発掘！古賀のステキ活動！～地域がはぐくむ子どもの笑顔～」に決定。原案は古賀市となっていたが、市を除くことに全員同意)

それでは分科会の担当決めを行いましょ。私は統括ということで外れまして、2名ずつ、推薦者ともう一人を決めていきましょう。

(立候補の結果、

おひざにだっこ 推薦者村山委員と秋山委員

わくわくフェスタ実行委員会 推薦者平島委員と橋爪委員

カメの会 推薦者丸井委員と角森委員

古賀西校区コミュニティ運営協議会 國友委員と井浦委員 (に決定)

では、協議事項は以上です。

事務局：

皆様に対するお願いです。

前回お願いしておりました活動写真ですが、できましたら5月中に、ひとり5枚程度、再度お願いいたします。

キャプションをつけるため、どの団体のどんな活動かをお知らせいただきますと助かります。

松本議長：

では、その他に移ります。

今年度最後ですので、皆さんから一年間の振り返りと、来年度に要望するものを一言ずつお願いします。

角森委員：

福岡ブロック研修会の「協議会が動いている」という話が印象的だったので、そんな話を聞いたりみんなと話したいと思います。講師を呼ぶのではなく、みなさんのそれぞれの立場で話し合えたらと思います。

井浦委員：

笑顔のつどいでステージに上がらせていただいて、調査の結果を数値で見せるということが大切だと思いました。来年度については皆さんの活動を知りたいので、毎回5分程度でいいので紹介をしあうのはいかがでしょうか。

橋爪委員：

教員の世界は狭い世界になりがちなので、社会教育委員を務めさせていただいて、いろいろな立場の皆さんとこうして話ができただことは僕にとってとても実りあるものだったと思います。来年は自分の考え等をできる限り発信していきたいと思います。

松本議長：

橋爪委員は業務もお忙しい中、社会教育主事の資格も取られておりましたので、今後10年15年後の社会教育を担っていただけると期待しております。

秋山委員：

笑顔のつどい等参加するなかで、古賀市のいろいろな活動を知ることができたことがとても大きな収穫でしたし、非常に勉強になりました。

社会福祉協議会にも社会教育に似たような言葉で福祉教育というものがあります。それぞれ重なる部分やそれぞれの意味が持つ重要な部分もありますので、来年度は各ポイントを活かしながら、社会教育委員として、また得た知見を職場にも持って帰れるような活動を進められたらと思います。

丸井委員：

よくわからないままの1年間で、ただただ皆さんのお話を聞かせていただいただけでしたが、いろいろなことが社会教育につながるということがわかったので、来年度はもっと日々アンテナを張りながら頑張りたいと思います。

村山委員：

笑顔のつどいが大変印象に残りました。分科会の企画運営をするとなった時には本当にびっくりいたしました。団体さんと一生懸命頑張りました。知識はあまり高くございませんが、実務面で頑張りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

平島委員：

社会教育委員も長くなりましたが、ワールドカフェ方式などやったこともなく、避けてきた道でしたが、分科会をやってみて、やってみるにつれて、こういうものかと、聞くばかりでなく自分も参加するというのは、必要な手法なんだなと改めて感じました。

今年度でえんがわくらぶの活動は休止するので、学校とのつながりがなくなってしまいますが、来年も文化協会として頑張っていきたいと思います。

松本議長：

新しい方も入った1年でしたが、皆さん運営に協力的で前向きな意見も出して頂きました。

研修も充実しておりましたし、いろいろな研修に行けば必ず何かを持ち帰れると思いますので、来年度も皆さん忙しいとは思いますが、是非参加してください。

来年の1月には糟屋地区の社会教育委員の研修で古賀市が発表しますので、ご意見ご協力等よろしく願いいたします。

また筑後地区の社会教育委員の視察もありましたが、古賀市の名前が出るということは、皆さんが社会教育委員の会議を充実させてきてくれた成果だと思います。

また来年も笑顔でやっていきましょう。

では事務局から連絡をお願いします。

事務局：

1 点目は研修案内です。5月の社会教育振興会の総会ですが、毎回講演が非常に好評ですので、ぜひあしんぐうと近場でもありますので、是非ご参加ください。

また先ほど議長が仰られましたが、1月に糟屋地区の社会教育委員の研修がありまして、輪番制で今回は古賀市の取り組みを紹介することとなっております。

どなたかに発表をお願いすることになると思いますので、せっかくですので古賀市の社会教育の活動を発信していきましょう。

また、今年は豪雨災害により中止となった九州ブロック研修会ですが、今年度は11月に沖縄でございます。5名分の枠を確保しておりますので、前回参加できなかった方を中心に参加していただければと思います。

2 点目に社会教育施設における新型コロナウイルス感染症対策について別紙資料をご覧ください。

本市も対策本部を設置しまして対応しておりまして、その中で現時点での社会教育施設における決定事項を抜粋しております。

3 点目、令和元年度活動報告書原案につきましては、先ほど会議の中で決定いたしましたことを事務局の方で作文させていただきます。

松本議長：

では、最後に中村課長から1年間の講評をお願いしたいと思います。

中村課長：

皆様1年間お疲れさまでした。

活動はP D C Aサイクルで回そうということが言われておりますが、社会教育委員の活動の一番の特徴である笑顔のつどい、これが市民にとっても大切な学びの場として定着してきたということはとても貴重なことだと思います。今回6回目を開催するにあたり、過去5回を振り返って、改めて市民の方に身近に出会いの場をつくっていかうと分科会方式やワールドカフェ方式などを議論検討したということはとても素晴らしいことだったと思います。

学びの場をどう風につくるかという企画の場、それを実践し、毎月の会議で各々の活動を共有し、次の機会に活かされる。まさにP D C Aサイクルを年々ランクアップされていることを、特に今年は感じました。

また、エリアでのネットワークとテーマでのネットワーク、この縦と横のネットワークのバランスがうまく取れることで地域は作られていると思うのですが、まさに笑顔のつどいというのは縦と横、どちらに偏ることもなく、フィードバックしていかうというような場になっているということは非常に貴重なことであると思います。

先ほど秋山委員の言われたことに共感したのですが、社会教育という観点と地域福祉という観点、それ

それぞれ地域でいかに自分にできることを見つけて貢献していくかということだと思しますので、こういういろんな視点が混ざり合う場というのは非常に貴重だと考えております。

また来年も、皆様非常に学びに貪欲でいらっしゃいますので、そこにも敬意を抱くところではございますが、いろいろな手法を取り入れながら、第7回が実りあるものになるのではないかと期待させていただきたいと思っております。

本当に一年間、ありがとうございました。

松本議長：

ありがとうございました。

では次回の開催ですが、皆さん開始時刻ですが、来年度から6時半開始ということでお願いいたします。日付ですが、今後は私と橋爪先生が火曜日は解放子ども会がありますので外していただくようお願いいたします。

協議の結果、4月22日（水）18時30分から、ということでよろしく申し上げます。

次回は第1回実行委員会が主となりますので、よろしく申し上げます。

では副議長、終わりの挨拶をお願いします。

角森委員：

私の専門ですので、コロナのことをふたつ、お話させていただきます。

手洗いはハッピーバースデーを2回歌うくらいの時間が本当は必要ですので、皆さん歌いながら手洗い励行をお願いします。

そして、3密条件、密閉・密室・密集ですが、子どもにもわかる簡単な言葉で言うと「むんむん・ぎゅーぎゅー・がやがや」を避けましょう、と覚えるといいのではないかなと思います。

では皆様、一年間お疲れさまでした。